

キャリア教育「科学・先端技術体験キャンプ」

宿泊コース：1泊2日を含む3日間のプログラム

1日目：8月20日（火）	各受入機関での体験（日帰り）
2日目：8月21日（水）	午前：各受入機関での体験 午後：研究者との交流会（宿泊）
3日目：8月22日（木）	サイエンスカフェ

【講座C】千葉大学環境健康フィールド科学センター（柏市）

対象：中1～中3	定員：10名	参加：9名
----------	--------	-------

〔内容〕

- ・高度化セル成型苗生産利用システムの見学
- ・鉢花生産実習
- ・ブドウ・ナシの収穫と出荷調整
- ・植物工場見学
- ・養液栽培葉菜類の種まき、定植、収穫、出荷調整

〔感想〕

- ・大学の果樹園や施設を見ることができ、面白かった。
- ・野菜や果物の研究に興味をわき、自分でもやってみたいと思った。
- ・生産の過程を詳しく知ることができた。
- ・学校ではできないこと体験や見学ができ、将来の参考になった。



【講座C】 宿泊プログラム：研究者との交流会

講師 NPO法人企業教育研究会 市野 敬介 氏

研究者 千葉大学環境健康フィールド科学センター：三輪 正幸 氏

日本ベルパーツ株式会社：伊藤 健郎 氏、齋藤 優樹 氏

千葉県がんセンター：永瀬 浩喜 氏、若林 雄一 氏、山本 清義 氏

〔感想〕

- ・研究者の話を実際に聞くことで、将来への思いが高まった。
- ・似た志の人と出会い、考えを共有できて良い刺激となった。
- ・進路について、これまでより深く考えることができた。
- ・研究者の幼少期や、仕事について知り、研究職にも興味を持った。



【講座C】 宿泊プログラム：サイエンスカフェ

講師 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター室長 先川原 正浩 氏

〔内容〕最新のロボット事情に関する講義、ロボット談義(質疑応答含む)

〔感想〕

- ・ロボットについて興味深い話を聞くことができた。
- ・楽しそうにロボットについて語る先生を見て、自分も好きなことを仕事にできるよう、色々なことに努力しようと思った。
- ・研究によって生活が便利になることを改めて感じた。未来を明るくする仕事をしてみたいと思った。

〔大学生スタッフについて：川村学園女子大学〕

- ・明るく話しかけてくれたので、緊張がやわらいた。
- ・大学生から、大学生活や進路、将来のことなど、多くの話を聞くことができた。
- ・初対面だったグループのメンバーをまとめ、仲良くなるきっかけを作ってくれた。
- ・研究者へインタビューする際、内容について助言をしてくれた。
- ・質問したくても、うまく質問できなかったとき、代わりに質問してくれたので、より体験内容への理解が深まった。
- ・年齢が近いこともあり、とても話しやすかった。

